Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトコッカス・ピオゲネス ストレプトリジン O

Cat. No. NATE-0671

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ストレプトリジンOは、分子量が62 kDaの単一ポリペプチド鎖を持っています。ストレプトリジンOは膜コレステロールに結合し、45から50のユニットからなるリング構造を形成するためにオリゴマー化します。このリング構造は膜に□入され、大きな孔（25から30 nm）を作り、DNA、RNA、ペプチドおよびタンパク質が通過できるようになります。これはチオール活性化されます。ニンニクの活性成分であるアリシンによって抑制されます。
用途	細胞膜を透過させ、大きな分子や帯電した分子の細胞内取り込みを可能にします。ストレプトリジンOは、ストレプトコッカス・ピオゲネスによって分泌される毒素であり、孔形成細菌細胞溶解因子のプロトタイプメンバーです。これは、細胞膜を透過させて大きな分子や帯電した分子の細胞内取り込みを可能にするために使用されます。これは、マクロ分子の送達を研究するために使用されます。これは潜在的な抗癌剤であり、自殺癌遺伝子治療を研究するために使用されます。
別名	ストレプトリジンO; 98072-47-0; SLO

製品情報

由来	ストレプトコッカス・ピオゲネス
形態	凍結乾燥粉末
CAS登□番号	98072-47-0
分子量	69 kDa
組成	タンパク質、約3% ローリー
単位定義	1単位は、37°Cで30分間インキュベートした後、pH 7.4のリン酸緩衝生理食塩水中の2%赤血球懸濁液の50%溶解を引き起こします。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C